

19世紀後半にフランスで誕生する印象派やポスト印象派の作品は、今日では世界中で多くの人に親しまれるようになりましたが、一方で当時画壇の中心であったアカデミーの伝統からは大きく逸脱するものでした。それゆえ、印象派の登場は同時代の人々に衝撃を与えます。アトリエから戸外へと飛び出した画家たちは、絵の具を混色せずに配置する「筆触分割」という新たな手法によって、身近にあるものの一瞬のゆらぎをとらえようとしてきました。そして印象派は、西洋のみならず、日本の洋画界にも多大な影響を与えていくことになります。

本展では、国内有数のフランス近代美術コレクションを誇るひろしま美術館の所蔵作品を紹介します。モネやルノワールなどの印象派から、ポスト

印象派、そしてフジタなどのエコール・ド・パリの画家たちといったフランス近代美術の巨匠たちはもちろん、黒田清輝など、フランス絵画に大きな影響を受けた日本の洋画家たちの作品が一堂に会します。印象派を中心としたフランス絵画100年の展開をたどるとともに、作品との「本物の出会い」をお楽しみください。

【出品作家】

ウジェーヌ・ドラクロワ、ジャン＝フランソワ・ミレー、ギュスターヴ・クールベ、エドゥアール・マネ、クロード・モネ、ピエール＝オーギュスト・ルノワール、ポール・セザンヌ、ポール・ゴーギャン、ポール・シニャック、アンリ・マティス、モーリス・ド・ヴラマンク、ジョルジュ・ブラック、オディロン・ルドン、マリー＝ローランサン、レオナルド・フジタ、黒田清輝、藤島武二、岡田三郎助、安井曾太郎、梅原龍三郎、岸田劉生 など

印象派との出会い

—ひろしま美術館コレクション

【関連イベント】

講演会

※オンラインによる事前申し込み制

「ひろしま美術館のコレクションについて」

講師：水木祥子氏
(公益財団法人ひろしま美術館学芸課長)

日時：10月22日(土) 午後1時30分～3時

会場：栃木県立美術館 集会室

定員：60名

予約開始日：9月15日



「これからの美術館」

講師：五十嵐太郎氏
(東北大学大学院工学研究科教授)

日時：12月4日(日) 午後1時30分～3時

会場：栃木県立美術館 集会室

定員：60名

予約開始日：10月15日



ギャラリートーク(担当学芸員による)

※事前申し込み不要

日時：10月30日(日)、11月27日(日)、12月11日(日)
午後2時～3時

会場：栃木県立美術館 企画展示室

※講演会は右上のQRコード、または当館ホームページより予約ページにお進みください。

各日とも、予約開始日の午後9時より受付を開始いたします。定員に達し次第、受付を終了いたします。

※各イベントとも、当日の企画展観覧券が必要です。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、予定を変更する場合がございます。詳細については、当館ホームページおよびSNSをご確認ください。

【同時開催】

コレクション展Ⅲ「みんなの《推し》コレクション！」

2022年10月22日(土)～12月25日(日)

【宇都宮美術館のご案内】

開館25周年記念 全館コレクション展

これらの時間についての夢

2022年9月25日(日)～1月15日(日)

宇都宮市長岡町1077 Tel. 028-643-0100



【交通案内】

○電車・バス

- ・JR東京駅から東北新幹線にて約50分
- ・JR宇都宮駅(西口6番・7番バス乗場)、東武宇都宮駅から「関東バス作新学院・駒生行き」にて「桜通十文字」バス停下車 徒歩5分

○自家用車

- ・東北自動車道鹿沼ICより約10km、約20分
- ・北関東自動車道壬生ICより約13km、約25分

栃木県立美術館

Tochigi Prefectural Museum of Fine Arts

〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7

Tel.028-621-3566

http://www.art.pref.tochigi.lg.jp/



Encounters with Impressionism: From the Hiroshima Museum of Art Collection

※画像はすべてひろしま美術館蔵



黒田清輝《白き着物を着せる西洋婦人》1892年



レオナルド・フジタ《裸婦と猫》1923年
© Fondation Fougita / ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4812



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《パリの審判》1913-14年頃



アンリ・マティス《赤い室内の緑衣の女》1947年



ポール・セザンヌ《曲がった木》1888-90年



ポール・シニャック《ポルトリュウ、グルヴロ》1888年